

平成30年度 水道事業会計決算報告

健全な水道事業の運営のため「第3期田川市水道事業中期経営計画」に基づき「老朽施設の更新」「漏水防止対策」「民間委託の推進」の3点に重点を置いて取り組みました。また、市内の漏水事故による断水の多い配水管などの、更新改良を実施しました。

前年に続き黒字決算

平成30年度の収支決算のうち、給水収益は、給水人口の減少や節水機器の普及、大口使用者の使用量の減などにより減収となりました。費用は、県営伊良原ダムの完成に伴い田川地区水道企業団からの受水費が増加したことや、遊休施設である緑ヶ丘浄水場の解体除却工事などにより、前年度と比較して増額となりました。この結果、消費税を差し引いた純利益は6千135万1千円で、前年度に引き続き黒字決算となりました。

さらに、水道管や浄水施設などの更新改良などに要した4億9千895万7千円の費用は、企業債や県費補助金などの収入を財源として充て、不足分は内部留保資金で補填しました。



▲完成した伊良原ダム

水道事業を統合・経営を一体化

水道は、市民生活や社会活動に必要な不可欠なものです。しかし、人口の減少や節水型社会の影響によって、水道料金収入は減少しており、この減少傾向は今後も続いていくことが見込まれています。その一方で、水道水を安定的に供給し続けるため、老朽化した施設を整備し、地震などの災害に強い水道施設を構築しなければなりません。

水道事業経営の安定化と、水道施設の再構築を適切かつ効率的に推進するため、本年4月1日、田川地区水道企業団と田川市、川崎町、糸田町、福智町の水道事業が広域統合し「田川広域水道企業団」が誕生。田川地域1市3町の水道経営の一体化を行いました。今回の田川での広域統合は、広域統合の先進的なモデルケースとして注目を集めています。今後は、この統合の効果が最大限に発揮され、将来の水道料金の上昇を抑制するための取り組みを進めていきます。※市内の水道に関する手続きや問い合わせは、これまでどおり田川市水道事務所まで連絡してください。

水の安定供給のために

水道事業は、利用者のみなさんが支払う水道料金で水道水を作り、各家庭まで水を供給するための費用をまかなっています。

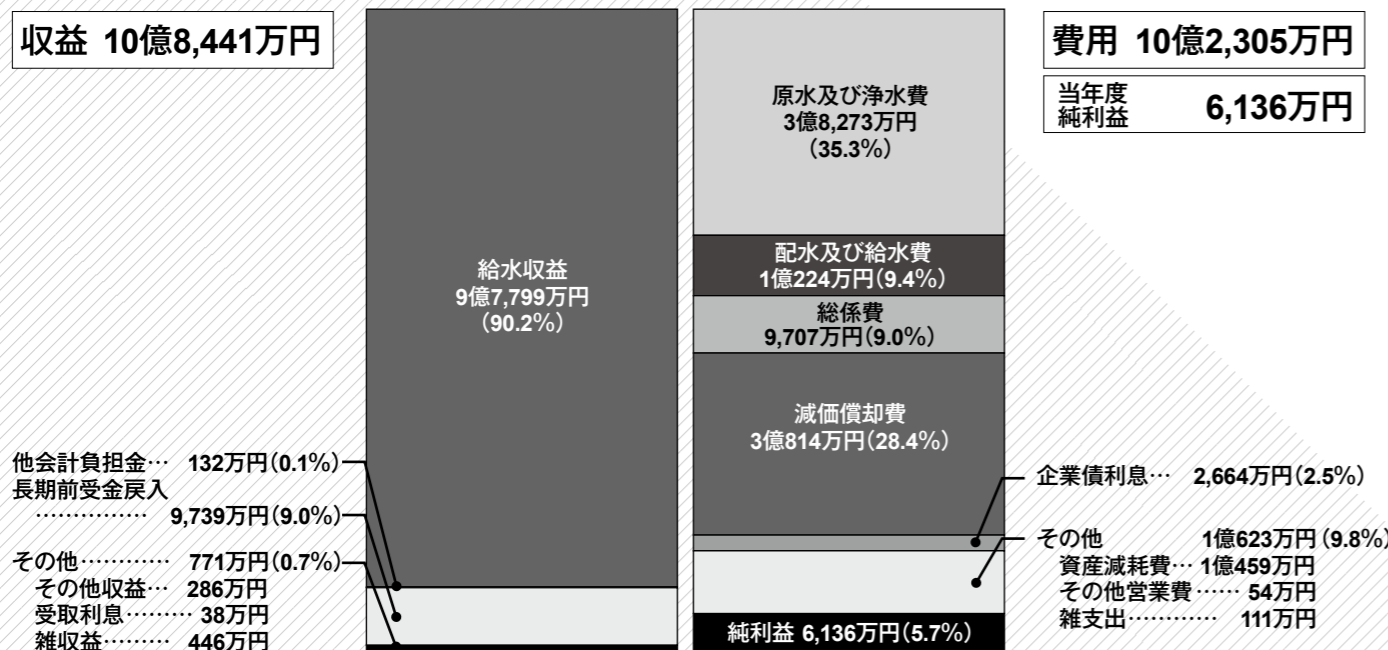
このため、一部の人が水道料金を納入しない場合、水道事業の経営に影響を与えるだけでなく、きちんと水道料金を納入している多くの利用者のみなさんに迷惑をかけてしまうことになります。

また、納入期限を過ぎても支払いがない場合、再度の支払いのお願いや給水停止措置のため現地向向などの業務が生じるため、通常では必要のない費用がかかってしまいます。

水道料金は、必ず、期限内での納入をお願いします。

水道料金の支払いは、便利な口座振替を利用してください

収益と費用



資産と資本・負債

平成30年度末

資産 99億4,058万円	資本 54億2,955万円
固定資産 …… 84億5,944万円	自己資本金 …… 17億8,230万円
流動資産 …… 14億8,114万円	資本剰余金 …… 5億2,305万円
	利益剰余金 …… 31億2,420万円
	負債 45億1,103万円
	固定負債 …… 15億1,163万円
	流動負債 …… 10億8,791万円
	繰延収益 …… 19億1,149万円



給水人口・配水量

平成30年度末

給水人口	46,889人
年間総配水量	6,681,009m ³
1日平均配水量	18,304m ³
1日1世帯平均配水量	763ℓ
1人1日平均配水量	390ℓ
1日最大配水量	20,742m ³
1人1日最大配水量	442ℓ

不審な業者に注意!

漏水調査やメーターの取り替えを行う水道事務所職員や委託業者は、企業団発行の身分証明書(写真入り)を携帯しています。作業は無料で行うため、料金を請求することはありません。不審な業者が訪問した場合は、身分証明証を確認するか、水道事務所に問い合わせください。

水道管工事のため断水をすることがあります

水道事務所では、断水を伴う工事を実施する場合、事前に行政区への連絡や、断水の影響を受けるみなさんへの文書配布などで周知を行っています。また、工事後は蛇口から空気や濁った水が出ることがありますが、しばらくの間水を出すことで解消します。みなさんのご理解とご協力をお願いします。

※緊急の工事の場合、十分に事前のお知らせができないことがあります。ご了承ください。

